

《第2次》あま市定員適正化計画  
(改訂版)

(平成27年度～令和4年度)

令和2年3月

あま市

## 改訂理由

本市は、合併してから行政改革を一層進め、スケールメリットを活かすとともに、市民サービスの水準を確保しつつ、より合併効果を発揮できる組織づくりを進めるため、平成23年3月に「あま市定員適正化計画」（計画期間：平成22年度～平成26年度）を策定し、適正な定員管理に努め25人の削減を達成し、平成27年3月に「第2次あま市定員適正化計画」（計画期間：平成27年度～平成31年度）を策定し、現状の定数水準の維持（539人）としてきました。

しかし、平成31年4月の市民病院の指定管理者制度移行に伴い、職員数が551人となり、当初に掲げた定数水準の維持の達成が困難となりました。

今後も複雑多様化する行政ニーズに応えるための体制を整える必要があり、限られた財源を柔軟かつ効率的に活用する行財政運営をしていかななくてはなりません。

しかしながら、権限移譲などによる事業の増加、多岐にわたる市民ニーズに対応するため、よりきめ細かいサービスを提供することが求められる現状において、市民サービス（各種施策）の担い手である職員の数を単純に減らすことは、サービスの質・量を低下させてしまう恐れがあります。

この現状に対応するため、現在の定員適正化計画を令和4年度まで変更する改訂を行うものです。

## 第2次あま市定員適正化計画の経緯

区分		年度	H27	H28	H29	H30	H31
計画対象	計画	職員数	539人	539人	539人	539人	539人
	実績	職員数	539人	540人	544人	540人	551人
		増減数		1人	4人	△4人	11人
	計画と実績の比較			1人	5人	1人	12人
対象外	市民病院医療職	139人	142人	141人	140人	0人	
全職員数			678人	682人	685人	680人	551人

### 1 改定後の計画

類似団体と比較しても職員数が少ない状況ですが、平成31年度までの計画期間を3年延長し、令和2年度から令和4年度までの計画目標を現況の551人に設定します。

なお、今後は、以下のような変動要因が予想されます。社会情勢の変化に応

じて、適切な見直しを行うこととします。

## 2 変動要因

### ① 組織機構の見直し

公共施設の統廃合の実施状況や新庁舎建設など組織機構の見直しにより変動する。

### ② 事務処理の効率化

民間委託や革新的ビッグデータ処理技術の導入の検討など事務処理の効率化や職員が担うべき業務を精査し、効率的に市民サービスの向上を図る。

### ③ 勤務形態の多様化

再任用職員だけではなく、定年延長、定年前退職（役職定年時退職）や短時間勤務などの制度変更に伴う多様な働き方の設定により変動する。

### ④ 職員の働き方改革の推進

業務が高度化し、職員の負担が増えている傾向にある。管理職のマネジメント能力の向上に努め、長時間労働是正、仕事と家庭の両立支援、心身の故障や過労死等を防止など健康に配慮するため、適正に労務管理し、職場環境整備に努める。また、長期的な視点で計画的に人材の確保をする。

### ⑤ 新規事業の発生、既存事業の改廃

権限移譲や新規事業の追加、事業目標達成による廃止、変更により変動する。